



旅館・宿泊業向け 課題1：紙台帳見直し

紙の台帳が 情報共有を 妨げていませんか

～ 書いた情報を、みんなが見られる形に ～

紙の台帳が中心の帳場



ちゃんと書いているが、
誰にも伝わっていない。

情報が共有された帳場



書いたことが、
すぐみんなに伝わる。

このようなお困りごとはありませんか



予約や伝言を紙に書いても
ほかのスタッフに伝わらない



同じ情報をあちこちに
何度も書き写している



お客様の情報を確認するのに
台帳を探し回ることがある

こんな現場を一緒にめざします

書いたら、みんなが
すぐ見られる

書き写す手間が
なくなる

台帳を探す時間が
なくなる

全部を一度に変えなくて大丈夫。まず一つから、一緒に。

078-977-9085

(平日 9:00～17:00) 詳しくは裏面へ





1 こんな情報を、共有できる形にしていきます

予約状況と
お部屋の割り振り

お客様からのご要望・
申し送り事項

客室清掃・点検の
完了報告

食材・備品の在庫と
発注の記録

どの情報から手をつけるかは、宿の事情にあわせて一緒に決めます。

2 支援の進め方

① まず、いまの台帳の
使い方を見せてください

② 一つの情報から、
共有できる形にします

③ 実行してみて、
一緒に直します



どんな情報を、どこに、どうやって書いて
いるか、一日つき添わせてください。

全部は一度にやりません。まず一つ、伝わ
りやすい形から。

みんなに実際に使ってもらい、伝わりにく
かった箇所を直します。

3 この支援の特徴

大がかりな設備投資を前提にせず、今できる小さな改善から一緒に始めます。



複数回の伴走支援



無料で現場訪問



専門家と一緒に改善

情報が共有できるようになると、次の一手が見えてきます。手順の整理やシステムの活かし方も、続けてご相談いただけ
ます。

4 対象・ご相談・お申込み

対象：兵庫県内に事業所または支援対象となる現場がある中小企業・小規模事業者
(旅館・ホテル・民宿・簡易宿所・民泊など)

無料相談・訪問支援のお申込み



078-977-9085

(平日 9:00～17:00)



ホームページ

からもご相談いただけます

<https://web.hyogo-iic.ne.jp/keiei/yorozu>



観光協会・金融機関・商工会議所・商工会など支援機関の皆さまへ お困りごとのある事業者様をご紹介します。

専門家による相談・訪問支援は無料です。設備やシステム等の導入費用は事業者様のご負担となります。